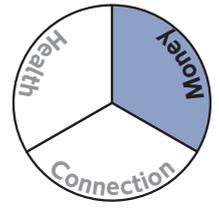


# 向こう1年間の市場見通し (4月8日時点)



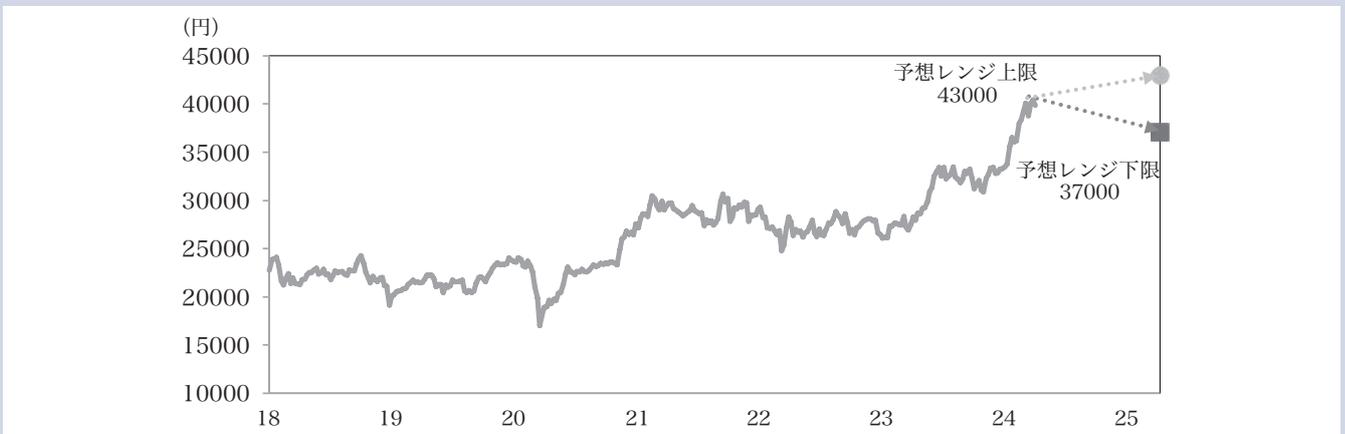
経済調査部 主席エコノミスト 藤代 宏一(ふじしろ こういち)

## 予想コメント

	コメント
株式	日本株は企業業績の拡大、積極的な株主還元を背景に底堅い推移を予想する。米国の利下げが近づく中、海外株の強さも追い風となろう。もっとも、FRBの利下げが遅れることで世界的に長期金利が高止まりし、株式の(債券に対する)相対的な魅力が低下する可能性に注意が必要。
ドル円	米国のインフレ率は低下基調にあり、FRBの年内利下げ開始が織り込まれている。日米金利差縮小を見込むドル売り・円買いは現時点で限定的だが、利下げ開始が現実味を増せば、円高方向への推移が予想される。日銀の緩和修正が一定の円高圧力を生じさせる可能性もある。
金利	驚くほど強かった春闘の結果を受けて日銀は3月にマイナス金利解除に踏み切った他、長期金利を0%程度に誘導する政策も終了した。賃金上昇による個人消費の回復が確認できれば、10月までに追加の利上げが実施されるのではないかと。その場合、長期金利が1%を超える可能性もある。

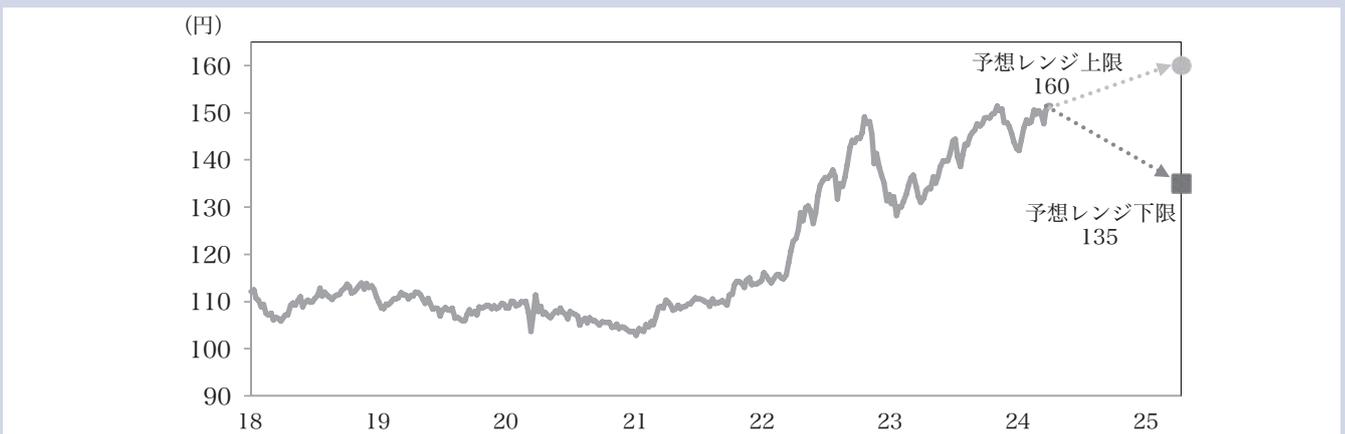
(注)記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

向こう1年間の日経平均株価



(出所)Refinitivより第一生命経済研究所作成

向こう1年間のドル円相場



(出所)Refinitivより第一生命経済研究所作成